

主要産地における令和3年産水稻の生育状況等について 第3報 (6月11日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和3年6月11日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		
北海道		<p>【生育状況 (6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植は平年並に終了した。移植後の苗の活着は並。(北海道農政部 6月7日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月7日付)</p> <p>(石狩) 移植作業は平年並。生育は平年並。(石狩振興局 6月7日付)</p> <p>(後志) 遅速は早1日。(後志総合振興局 6月7日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月7日付)</p> <p>(日高) 生育は平年並であり、移植作業は平年並で進んだ。(日高総合振興局 6月7日付)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並に行われ、苗の活着は順調である。(渡島総合振興局 6月7日付)</p> <p>(檜山) 移植作業は概ね平年並、生育は平年並。(檜山振興局 6月7日付)</p> <p>(上川) 生育及び農作業は、平年並に進んでいる。(上川総合振興局 6月7日付)</p> <p>(留萌) 生育は、平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月7日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に終了した。生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は日本海側と太平洋側で高く、オホーツク側で平年並か高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめびりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。</p> <p>(農林水産省 3月23日)</p> <p>(出典資料は以下同じ)</p>
青森		<p>【5月31日現在】</p> <p>・「つがるロマン」は草丈が23.0cmで平年より1.5cm長く、株当たりの茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.3葉で平年並であった。</p> <p>(生育) ・「青天の霹靂」は草丈が23.7cmで0.1cm短く、株当たりの茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.0葉で0.3葉少なかった。</p> <p>・「まっしぐら」は草丈が22.8cmで0.3cm短く、株当たりの茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.1葉で0.1葉少なかった。</p> <p>(地権) 青森県産業技術センター農林総合研究所 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがるロマン」及び「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり令和3年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手		<p>・県内の田植え盛期は、5月17日頃で平年並み。</p> <p>・田植え時の苗の草丈は、北上川下流及び東部(播種4/15頃、移植5/13頃)では平年に比べ短く、北上川上流と北部(播種4/16頃、移植5/21頃)は育苗期間後半の高温の影響で平年より長くなった。</p> <p>・田植え盛期の5月中旬以降気温が高く推移したことから、活着は平年並みに良好となっている。</p> <p>(岩手県 5月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「銀河のしずく」が耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城		<p>【5月27日現在】【県全体の平均】</p> <p>・5月27日現在の県全体の田植え進捗率は98.3%となっている。田植終期は5月21日であった。(宮城県 5月28日付)</p> <p>【6月1日の生育調査結果(美里地区)】</p> <p>・5月第1～第2半旬に強風の日があり、葉先枯れが見られたほ場があったが、5月の気温が平年より高めで推移したこともあり、生育は順調に推移している。(宮城県美里農業改良普及センター 6月2日付)</p> <p>【6月1日の生育調査結果(気仙沼地区)】</p> <p>・管内の生育調査ほにおける6月1日現在の生育は、草丈が概ね平年並、㎡当たり茎数が植付本数が多くなったほ場を除き概ね平年並。移植後の活着は順調であり、分けつも確認され始めている。(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、近年、収量水準の高い「銀河のしずく」が増加傾向にある。</p>
秋田		<p>(平 産) 田植え作業の盛期(進捗率50%)は平年並の5月24日。終期(進捗率95%)は平年並の5月30日(6月7日付)</p> <p>(由 利) 田植え作業は約98%終了。(6月4日付)</p> <p>(秋 田) 田植え作業は8割以上終了。(5月28日付)</p> <p>(山 本) 5月30日現在の田植作業の進捗状況は、98.3%(6月4日付)</p> <p>(仙 北) 田植え作業は5月23日が盛期(平年並み)。(5月28日付)</p> <p>(雄 勝) 田植えの盛期は平年より1日早い5月24日に迎えた。(6月1日付)</p> <p>(鹿 角) 5月20日現在、田植作業の進捗率は39.0%(平年39.2%)であり、田植作業の始期は5月16日(平年5月17日)</p> <p>また直播作業の進捗率は95.5%(前年92.4%)であり、直播作業の盛期は5月16日(前年5月16日)、終期は5月20日(前年5月22日)。(5月21日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形		<p>【県平坦部の「雪若丸」の生育状況 6月10日現在】</p> <p>・指標値に比べ草丈・葉数・葉色は並み、茎数は少なくなっている。ほ場ごとに生育のパラツキが大きくなっている。(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部ほか 6月10日付)</p> <p>【県平坦部の「はえぬき」の生育状況 6月10日現在】</p> <p>・生育調査結果を平均した値は、草丈・葉数・葉数、葉色のいずれも平年並みとなっているが、ほ場間の生育量のパラツキが大きくなっている。(山形おいしき極めろ!米づくりプロジェクト本部 6月10日付)</p> <p>(北村山)</p> <p>・6月10日現在の調査圃の生育は平年並だが、管内の生育はパラツキが大きくなっている。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月11日付)</p> <p>(酒田 総合)</p> <p>・生育診断圃の生育は、草丈はやや短く、葉数は「はえぬき」がやや多い、「つや姫」がやや少ない、「雪若丸」が少ない、葉齢は平年並～早い、葉色は平年並～やや淡くなっている。全般に、生育は圃場ごとにパラツキが大きくなっている。(酒田農業技術普及課 6月11日付)</p> <p>(最上)</p> <p>・管内の移植作業は、平年よりやや早い進捗となっている。(最上総合支庁農業技術普及課 5月19日付)</p> <p>(鶴岡田川)</p> <p>・5月下旬の天候により、葉数・波数はやや遅れずみ (庄内総合支庁 農業技術普及課 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島		<p>【6月1日現在】</p> <p>・農業総合センターの生育調査では、草丈は本郡(郡山市)が長く、会津地域(会津坂下町)が短く、浜地域(相馬市)が平年並から長くなっている。葉数は、各地域とも少なくなっている。主産葉数からみた生育は、各調査場所ともに平年並からやや遅くなっている。(福島県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「天のつづ」が増加傾向となっている。</p>
茨城		<p>【水 戸】(5月31日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日付)</p> <p>(4月30日移植)「あきたこまち」平年並、「コンヒカリ」1日遅い、「ふくまるSL」平年並。(5月10日移植)「コンヒカリ」1日遅い。</p> <p>(生育) 【龍ヶ崎】(5月27日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月2日付)</p> <p>(4月27日移植)「あきたこまち」1日遅い、「ふくまるSL」1日遅い、「コンヒカリ」1日遅い。(5月7日移植)「コンヒカリ」2日遅い。</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ニカメイガ、絹糸枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あさひの夢」及び「ふくまる」が増加傾向となっている。</p>

	生育状況等		
栃 木		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ニカメイガ、結葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東)(農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「なすひかり」及び「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
千 葉	<p>【6月1日現在】</p> <p>・5月下旬は気温が高く推移したことから、生育の遅延(葉齢の進み)は平年並みとなっている。しかし、5月中下旬の日照不足の影響を受け、生育量は少なめに推移している。</p> <p>・6月補えの「コンヒカリ」は平年並に推移し、生育は順調。</p> <p>(生育)</p> <p><葉齢の進み(平年比)></p> <p>「ふさおとめ(4月20日補)」並、「ふさこがね(4月20日補)」並、「コンヒカリ(4月20日補)」並、「コンヒカリ(5月1日補)」並、「粒すけ(4月20日補)」並。</p> <p>(千葉県 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。</p>
新 潟	<p>【6月10日現在 県内全域の生育状況】</p> <p>・コンヒカリ 指標値に比べ、草丈は「並」、葉数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」。地域差、ほ場差が大きくなっている。</p> <p>・新之助 指標値に比べ、草丈は「並」、葉数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「淡い」。(新潟県 6月11日付)</p> <p>【6月10日現在】</p> <p>(岩 船) 6月上旬の高温多照で生育が旺盛になってきている。(村上農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(新発田) 好天が続く葉数が増加している。(新発田普及指導センター 6月11日付)</p> <p>(新潟) 6月に入り好天が続く、分けつの発生は順調となり葉数は増加。しかし田植え時期等により生育の差はやや大きい。「こしいぶき」は「コンヒカリ」に比べて生育は早く生育量も大きい。「新之助」はコンヒカリと同様の傾向である。(新潟農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(三 条) 6月上旬は平年並みの気温、日照により葉数の増加が進み「コンヒカリ」は連休田植えでは中干しの適期となっている。連休後田植えでは、ほ場間の差が大きい。「こしいぶき」は平均では葉数は少なめだが、ほ場間差が大きい。(三条農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(南魚沼) 草丈、生育の進みは並で、分けつの発生はほ場によって差がある。(南魚沼農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(十日町) 草丈は「並」、葉数は「やや少」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」となっている。6月に入ってからの好天により分けつが旺盛となり、葉数は急増している。田植えが5月15日頃までに行われたほ場では、葉数「多」の場合も見られる。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付)</p> <p>(上 越) ワキや強風、露等の影響がみられたが、「コンヒカリ」の生育は回復傾向。葉数や葉色は指標値並。「こしいぶき」は、草丈は短く、葉数は少なく、葉数や葉色は指標値並の生育。(上越農業普及指導センター6月10日付)</p> <p>(糸魚川) 調査ほ場の平均では草丈は並、葉数は多、葉数はやや多、葉色はやや濃という生育状況。場所や移植時期による生育量のほ場間差がある。特に5月中旬補え以降の生育は、移植後の少日照の影響が残り生育はやや遅れ気味だが、5月末時点よりも指標値との生育差は小さくなっている。(糸魚川農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(佐 渡) (6月9日現在)「コンヒカリ」の葉数は「並」。ほ場間差が大きく一部で葉数過剰。(佐渡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(魚 沼) (5月31日現在)田植え後の低温や少照により、活着・分けつの発生は緩慢で、地域差やほ場間差が見られる。(魚沼農業普及指導センター 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸)(農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少し、収穫水準の高い「ゆん子舞」、「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
富 山	<p>【本田での生育状況】(6月7日現在)</p> <p>・コンヒカリ 平年に比べて、草丈は短く、葉数は少なく、葉齢は遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数、葉色は平年並みとなっている。</p> <p>・てんたかく 平年に比べて、草丈は短く、葉数はやや少なく、葉齢はやや遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、葉数は平年並みとなっている。</p> <p>・てんこもり 平年に比べて、草丈は並み、葉数はかなり少なく、葉齢はやや遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、葉数は少なくなっている。</p> <p>・富富富 近年に比べて、草丈は短く、葉数はかなり少なく、葉齢はかなり遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数、葉色は近年並みで推移している。(富山県 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸)(農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも生育が安定している「てんこもり」及び「富富富」が増加傾向にある。</p>
石 川	<p>【5月28日調査】</p> <p>(葉齢展開)</p> <p>・コンヒカリは平年に比べ3日程度遅く、前年と比べ4日程度遅い。</p> <p>(生育)</p> <p>・ゆめみづほは平年と比べ2日程度遅く、前年より2日程度遅い。</p> <p>・ひやくまん穀は近年と比べ2日程度遅く、前年と比べ3日程度遅い。</p> <p>(石川県農林総合研究センター 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸)(農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p>
福 井	<p>【6月3日現在】</p> <p>・生育が進んできたが、葉数は平年より少ない。</p> <p>・連休中に移植したハナエゼンやあきさかりでは目標葉数を確保できている圏場もある。</p> <p>(生育) (福井県ほか 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸)(農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」及び「ハナエゼン」を中心とする品種構成である。なお新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
長 野	<p>【安曇野市豊科 標高550m 5月15日植(雑苗)「コンヒカリ」「あきたこまち」】</p> <p>・6月4日現在、水稻の生育進捗は、概ね平年並と思われる。(松本農業農村支援センター 6月7日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。</p>
滋 賀		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>・トビイロウンカ、ニカメイガ、結葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿)(農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コンヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかみ」の作付が推進されている。</p>

生育状況等			
兵 庫	<p>【5月27日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> (県北) <ul style="list-style-type: none"> ・移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。 (生育) <ul style="list-style-type: none"> (県南) <ul style="list-style-type: none"> ・苗の生育は順調である。 (兵庫県 6月7日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トビロウカ、ニカメイガ、繭葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> ・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。 <p>(岡山県 5月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コンヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネミズゾウムシ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コンヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
高 知	<p>【5月24日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、全体的に茎数は少なく、生育がやや遅れている。 ・南国そだち <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べ、草丈はやや高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。 ・コンヒカリ(4月6日植え) <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べ、草丈は高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。 ・よさこい美人 <ul style="list-style-type: none"> 前年に比べ、草丈は高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。 ・コンヒカリ(4月14日植え) <ul style="list-style-type: none"> 平年に比べ、草丈は高く、茎数が少ないものの、生育進度(葉齢)は平年並みで推移している。 <p>(高知県農業技術センター 6月4日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネミズゾウムシ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コンヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
福 岡	<p>【6月1日現在】</p> <p>(1) 早生水稲(夢つくし、コンヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え後、多雨で経過したため生育はやや軟弱徒長。昨年度多発したスクミリンゴガイの被害は少ない。 ・4月下旬植は田植え後40日頃に有効茎数が確保され、6月5日頃に中干し開始時期となる見込み。 <p>(2) 普通期水稲(夢つくし、元氣つくし、ヒノヒカリなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平坦地の田植えは、「夢つくし」が6月上中旬、「元氣つくし」が6月中下旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬、「実りつくし」が6月中旬にピークとなる見込み。 <p>(福岡県農林業総合試験場 6月1日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元氣つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元氣つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまきん」及び「コンヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。
宮 崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>(生育)</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月26日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みき358」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月12日～7月11日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コンヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、早期栽培において収量水準の高い「なつほのか」が増加傾向であり、「コンヒカリ」との価格差も小さいことから今後も移行が進むことが予想される。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和3年6月11日14時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で表している。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月7日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月1日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月7日)、
農作物生育状況調査の概要 令和3年6月1日現在(北海道留萌振興局 6月7日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、
作況報告(5月31日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月2日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県)(5月27日)、
令和3年産水稲の田植状況について(5月27日現在)(宮城県 5月28日)、
令和3年産美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月2日)、
令和3年産気仙沼・南二陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月2日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月11日閲覧)、
稲作だより第6号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月11日)、
酒田・鮎海米づくり情報第5号(酒田農業技術普及課 6月11日)、
米づくり技術情報No.4(山形おいしき極める!米づくりプロジェクト本部 6月10日)、
おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁 6月3日)、
稲作だより第5号(最上支庁農業技術普及課 5月19日)、
主要な農作物の生育情報令和3年度第3号(福島県農林水産部 6月8日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月3日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県 6月3日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第2号)(新潟県 6月11日)、
岩船米生育速報(6月10日現在)(村上農普及指導センター 6月10日)、
コンヒカリ生育情報第1号(魚沼農業普及指導センター 5月31日)、
令和3年産水稲生育速報No.2(新発田農業普及指導センター 6月10日)、
稲作速報No.2(新潟農業普及指導センター 6月10日)、
FAX稲作情報No.4(三条農業普及指導センター 6月10日)、
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.2(6月10日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月10日)、
十日町地域稲作生育速報(令和3年6月10日)(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月10日)、
コンヒカリこしいぶき生育速報No.2(上越農業普及指導センター 6月10日)、
令和3年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.2(糸魚川農業普及指導センター 6月10日)、
令和3年度稲作生育速報No.2(佐渡農業普及指導センター 6月10日)、
TACS情報第3号(富山県 6月7日)、
令和3年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月31日)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月4日)、
令和3年作物技術普及情報第9号(松本農業農村支援センター 6月7日)、
令和3年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月7日)、
令和3年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月27日)、
令和3年度における早期水稲の生育状況(5月24日時点)(高知県農業技術センター 6月4日)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月1日現在)、
令和3年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月26日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月10日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月10日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月10日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月10日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月10日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月10日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月10日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月10日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月10日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月25日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月25日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月25日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月25日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月25日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月25日鹿児島地方气象台)、

令和3年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月9日)
令和3年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月23日)